



TAIHO GROUP
VISION 2015

更なる発展への挑戦

大豊グループ

大豊工業株式会社
 大豊精機株式会社
 日本ガスケツ株式会社
 大豊岐阜株式会社
 株式会社ティーイーティー (TET)
 株式会社タイハウライフサービス (TLS)
 株式会社タイハウテクノサービス (TTS)
 株式会社タイハウパーツセンター (TPC)
 タイハウ コーポレーション オブ アメリカ (TCA)
 タイハウ ヌサンタラ株式会社 (PTN)
 タイハウ コーポレーション オブ ヨーロッパ (TCE)
 韓国大豊株式会社 (TCK)
 大豊工業(煙台)有限公司 (TCY)
 タイハウ タイランド 株式会社 (TCT)
 タイハウ マニュファクチャリング オブ テネシー LLC (TTN)



「VISION 2015」 更なる発展への挑戦

I.大豊グループのミッションを確認しよう！

はじめに

「VISION 2015」は、常に成長し続ける企業を目指す大豊グループが、その成長を確かなものとするために、2015年をマイルストーンとして達成しておかなければならない具体的な目標を定めたものです。この冊子は、大豊グループ全社員がグループの未来を思い描くことができ、「ビジョン」を達成するために、自分の部署や立場で「今、やらなくてはならないこと」を見つけ出し、実行に移しやすくするためのツールとしました。

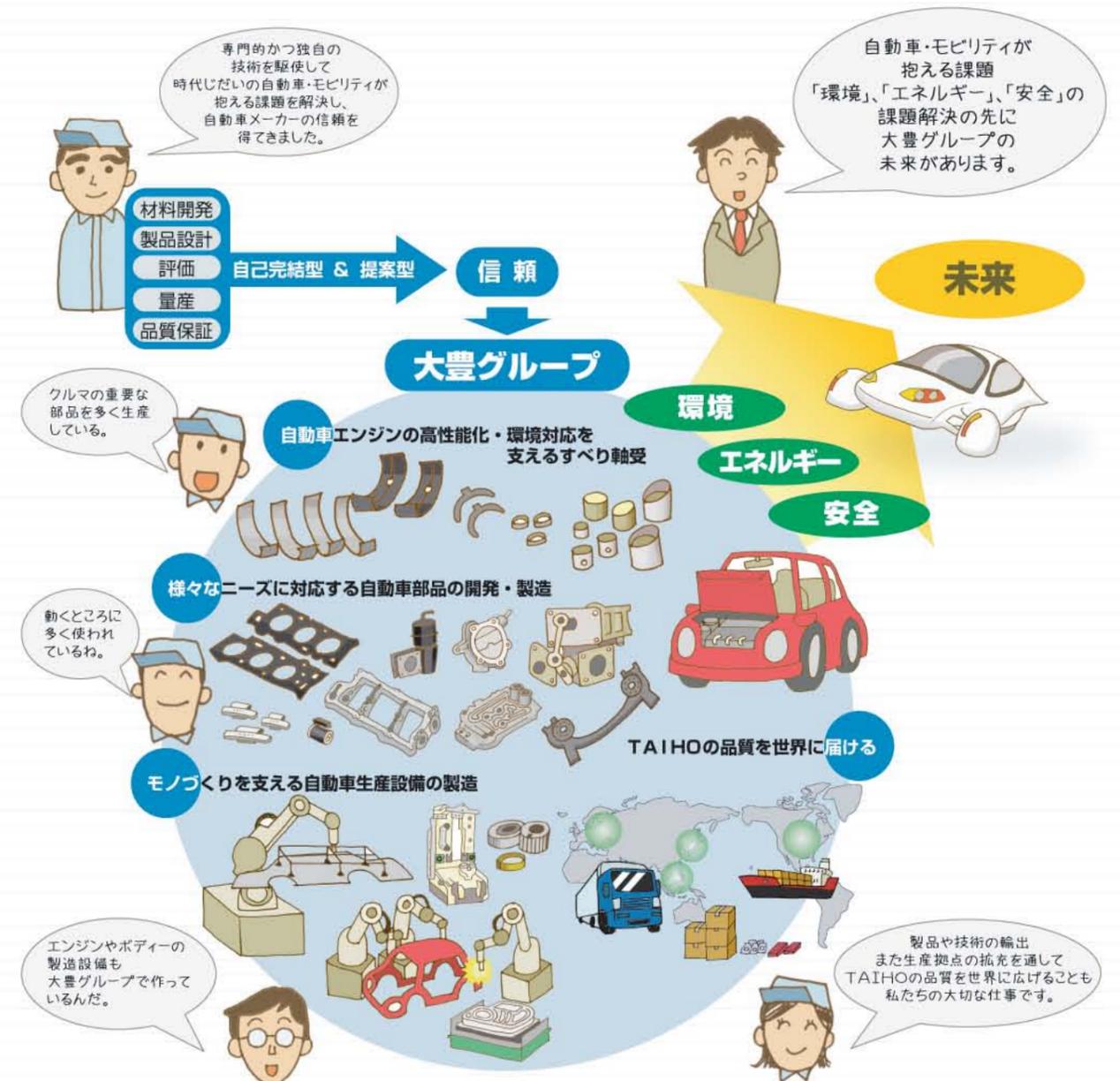
わたしたちは、専門的かつ独自の技術を持っており、それを駆使して時代じだいの自動車・モビリティが抱える課題を解決し、お客様と共に自動車の発展に貢献してきました。現在、そしてこれから先も自動車・モビリティがサステイナブルな（持続可能な）発展を続ける為には、「環境」「エネルギー」「安全」における課題解決が必要です。我々大豊グループは更に技術を高め、これらの課題解決に寄与し、企業価値を向上させることにより、今後自動車産業にとってなくてはならない存在としてサステイナブルな発展を続けていきます。これがわたしたちのミッション（使命）です。このミッションをより確実に実行するために、将来の目標を定めたものが「VISION 2015」です。

「VISION 2015」シンボルマーク



大豊工業の創立60周年を機に、その10年後を確かなものにするための企業風土づくりとして、「新生・大豊風土づくり」が2005年にスタートし、さまざまな活動を通じて、企業基盤の強化を進めてきました。今回、具体的な目標として設定した「VISION 2015」は「新生・大豊風土づくり」の延長線上にあり、より未来を確実にするためのものです。

「新生・大豊風土づくり」のシンボルマークは「人（社員）が創る大豊風土」という意味が込められています。「VISION 2015」の達成においてももちろん「人（社員）」が中心になります。そこで、「新生・大豊風土づくり」のマークに「VISION 2015」を付加して新たなシンボルマークとし、更なる飛躍を目指します。



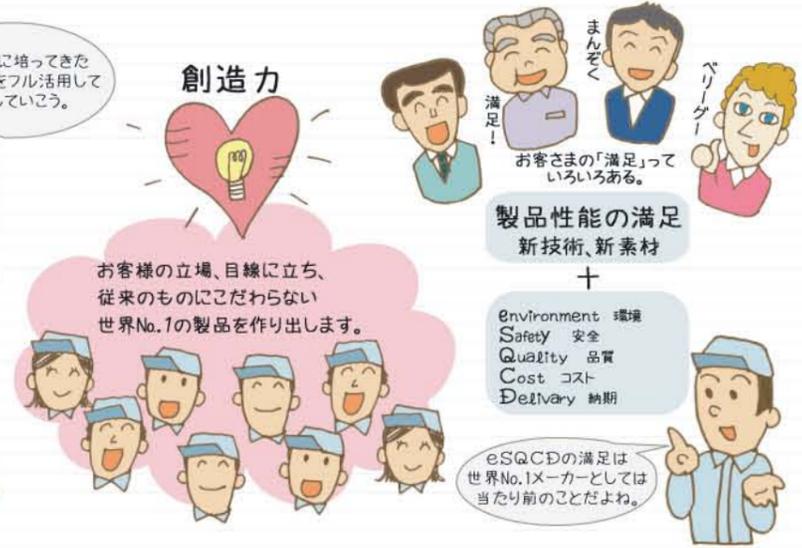
VISION 2015

大豊グループは、サステイナブルな企業でありつづけるために、2015年、以下の姿を目指します。

Ⅱ. 2015年の大豊グループが目指す姿

自動車用すべり軸受分野で 世界No.1の実現

大豊グループが、もっとも得意とする「すべり軸受分野」において、世界No.1を実現するために、お客様の立場・目線に立ち、常に先を見据えた研究開発を進めています。eSQCDの向上はもちろんのこと、お客様に喜びと驚きを感じていただける製品開発で、世界No.1を実現します。



トップブランドの確立

環境・エネルギー・安全等の課題解決に
寄与する新製品の開発・提供。

大豊グループが製造する自動車部品で、トップブランド製品を確立するためには、お客様から信頼され、継続的に求められる最先端の製品を開発し、世に送り出していきます。大豊グループが開発パートナーとして認められ、モビリティの課題解決に寄与する新製品へと発展させることで、大豊グループ製品をトップブランドとして確立します。



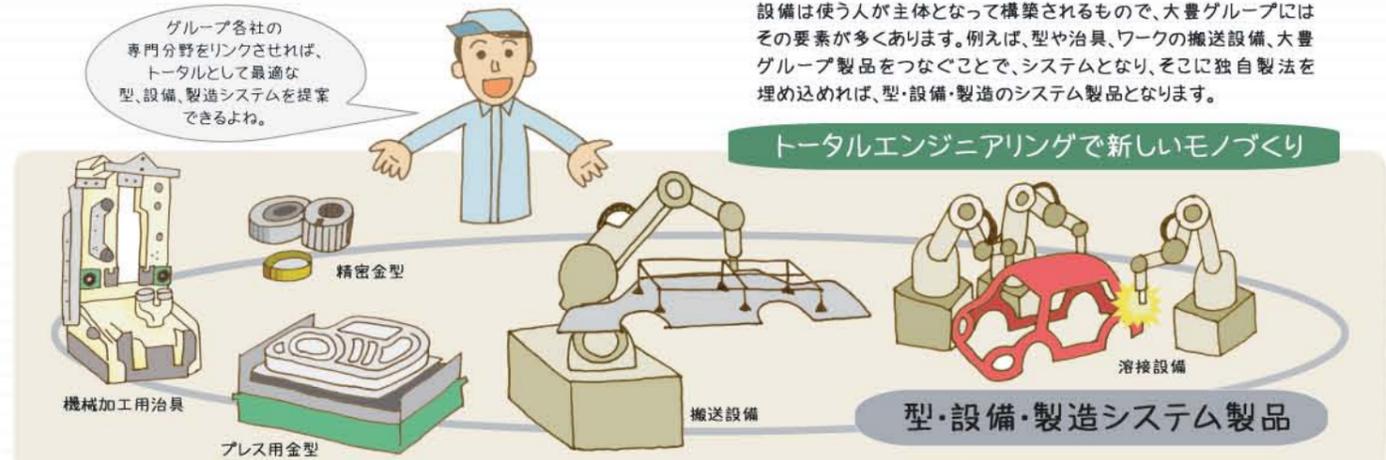
これらは、いろいろな時代のニーズによって生まれてきた自動車部品です。そしてこれらを自動車の進化に追従しどんどん改良して、継続的に採用されて行くことが大切。そうすることで、トップブランドの製品に育って行きます。



現在、そしてこれから先、サステイナブルな自動車・モビリティ社会における課題は、「環境」、「エネルギー」、「安全」。これらの課題解決に寄与する新製品を開発・提供し続けることが、お客様の信頼を得、サステイナブルな発展を続ける大豊グループを作り上げていきます。

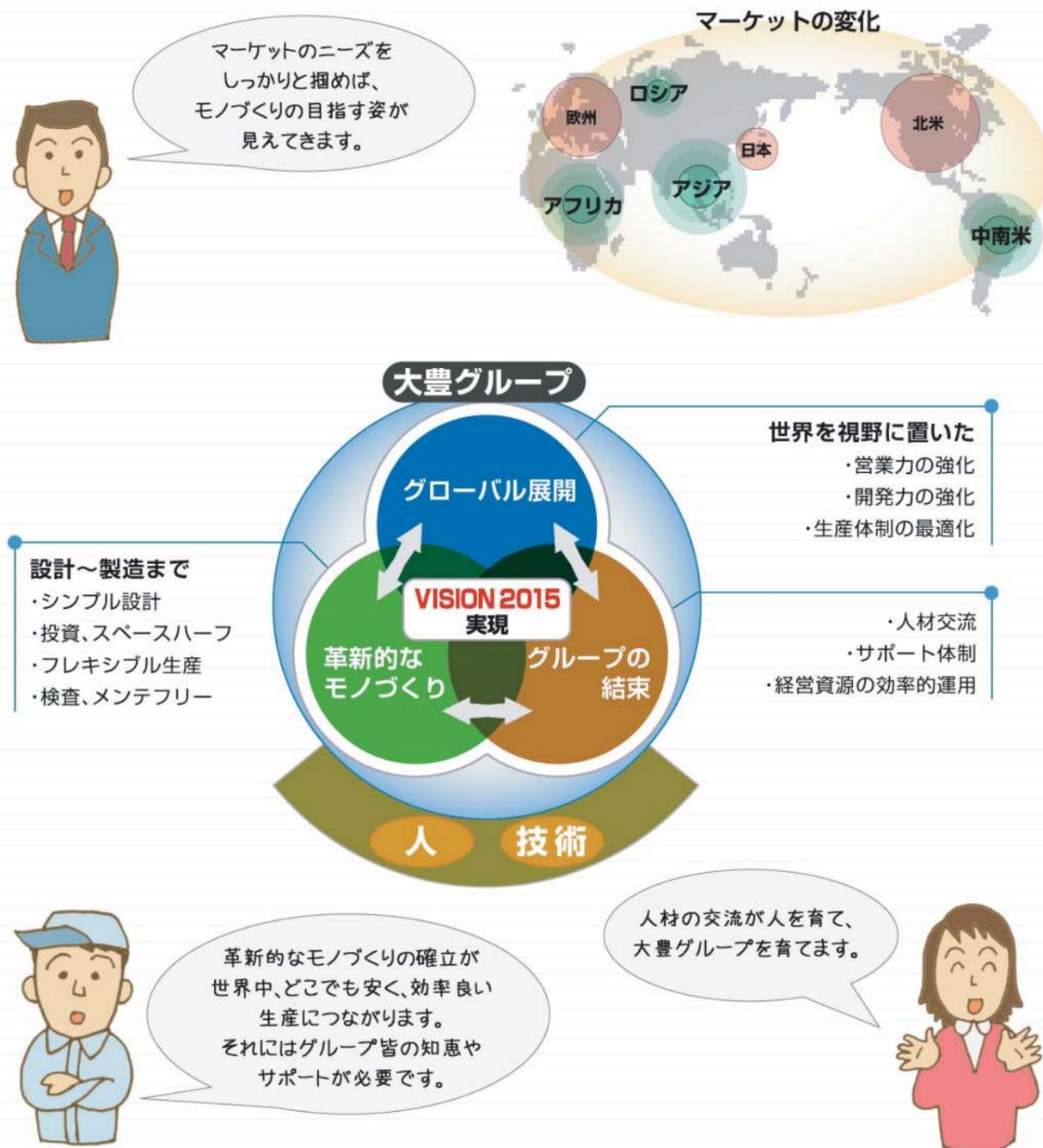
大豊グループの総合力を生かした 型・設備・製造システム製品の確立

大豊グループは、部品生産の全工程にまたがる技術と経験(試作、型、設備)を持っています。この強みを生かし、グループ内の相乗効果を最大限に発揮させることで、お客様の求める姿の実現に協力し続けます。そして、各専門分野を成長させ、グループの結束により、全工程をスルーしてみた製造システムとしての提案という新たなジャンルを確立します。



Ⅲ. 「VISION 2015」達成のためのグループとしての取り組み

めまぐるしく変化する「マーケット（市場、ニーズ）」に対応する為には、「人」と「技術」を核にして、「革新的なモノづくり」、「グループの結束」、「グローバル展開」の3つの力を相互に高め続けることが重要です。この3つの力こそが、大豊グループをサステイナブルな発展へと導く原動力になります。この3つの力を皆で意識し、大豊グループの夢「VISION 2015」を実現します。



Ⅳ. 2015年、そしてその先もサステイナブルな企業であり続けるために

地球温暖化・大気汚染・資源の有効活用など、環境保護をはじめとするさまざまな課題への対応は自動車産業全体が抱えている課題です。大豊グループは、これらの課題に対し技術提案型企業として、当社製品の開発、設計、販売、廃棄に至る全ての段階において、環境に及ぼす影響を予測・評価し、優れた製品でお客様と共に次世代の自動車づくりを目指します。また、製造業として製造環境の改善はもとより、工場が立地する地域社会との調和、自然と共存できる工場づくりなど、幅広い視野で次世代の企業を目指します。

